

H29春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨に対する進捗状況について

山加積地区

提言等の項目	H29春に開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①防犯対策	全国で図書館の蔵書の切り取り被害が多発しているが、市では被害があったのか。また、対策はしているのか。	市図書館では、県内の高校記念誌1冊において1ページ破り取られる被害が出ています。対策としては、館内に防犯カメラを設置しているほか、今後はマナー向上の啓発や、返却時の本のチェックを行いたいと考えています。
②有害鳥獣対策(1)	これまでもサルやクマ等の捕獲を行っていただいているが、頭数が減っていないと感じるのでさらなる捕獲をお願いしたい。 また、イノシシやアオサギが田植え時期に出没し、田に被害が出ているため、市として対策をしてほしい。	サル、クマ、イノシシ等の対策においては、地域の方における追い払いのほか、電気柵の設置、大型の檻の設置による捕獲等、一定の効果があると認識しています。今後も電気柵の延伸を行いたいと考えていますので、ご協力をお願いします。 アオサギ対策は、決め手がないことから、どのようなものがあるか研究します。
③山間部整備	みのわ温泉やテニス村と東福寺野自然公園を相互に利用できるよう、既存の道路を活用し、市内を周遊できる道路やサイクリングロード等を整備してほしい。	ご提言を実現するとなると、かなり壮大な構想となります。山間部の既存の農道等は、一般の方の利用となるとそれなりの整備が必要となります。また、道によっては市が管理しているものだけでなく、県が管理しているものもあります。 夢の構想の実現に向け少しでも事業を進められるよう念頭に置きたいと考えています。
④有害鳥獣対策(2)	サル、イノシシ、カモシカ等による畑の被害について、電気柵における対策の推進をお願いしたい。	電気柵については、今年度国の補助を受け、本江地内に約2.8キロメートル設置予定としていますので、ご協力をお願いします。
⑤道路拡幅(1)	スーパー農道から公民館までの農道が車の往来が多いが幅員が狭くすれ違いができない。拡幅のうえ市道認定していただき、将来的に県道黒川滑川線の代替としていただけないか。	市としては、以前県にご提言の農道を県道として認定いただき、県道黒川滑川線を市道として引き取るという話をしていますが、その話は現在途切れている状況なので、改めて県と話をしたいと思います。
⑥道路拡幅(2)	県道黒川滑川線から武内プレス等へ入るT字路が狭く、大型車が一度で曲がれないため、交差点を拡幅してほしい。	道路整備においては各所から多数の要望をいただいておりますので、優先度合いを総合的に判断して進めていますので、ご提言の箇所の整備については、しばらくお待ちください。
⑦道路拡幅(3)	保育園への送迎車両が多いことから、公民館の前面道路を市道認定してほしい。	市道認定については、一定の基準があることから、詳細については一度ご相談いただけたらと思います。

H29春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨に対する進捗状況について

山加積地区

提言等の項目	H29春に開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑧人口減少対策	山加積地区は65歳以上の人の割合が約41パーセントと、以前と比べ増加している。若者を呼び込むことができ、人口流出を食い止める方策は何が考えられるか。	市では第2子保育料無料化などの子育て施策のほか、結婚支援として男女の交流の場を提供しているほか、子育て世帯等に移住を促す施策、市に来てもらうためのPRなど行っています。すぐに効果が出るものではないかもしれませんが、将来に向けた施策としてこれからも行っています。
⑨空き家対策	過疎化に伴い空き家が増加している。その中には倒壊の危険性があるようなものがあり、被害が出る前に対策をしてほしい。	市には空き家が約750件あり、そのうち、倒壊の危険性があるものについては、周囲の方などから情報を得て、所有者等へ解体を促すなどしています。市が代わりに解体を行いその費用を所有者等へ請求する「行政代執行」等も行うこともできますが、なるべくそうならないよう所有者等で対応されるようお話し合いをしています。なお、利活用できそうな土地・建物については「滑川市空き家・空き地情報バンク」に登録いただければ、その内容を市ホームページ等に掲載し、情報の提供を行います。 これらについては、市広報等でも改めて周知したいと考えています。
⑩天日製塩施設	国の交付金を活用して整備された天日製塩施設は、年間最大680キロの塩を製塩できると聞いているが、現在の施設で可能なのか。また、塩の販売経路を考えないといけない。塩のPRをするために市民等へ配布してはどうか。シルバー人材センターで製塩している銀の塩との競合については考えているのか。	季節や天候により製塩量に差がでますが、現在の施設を年間フル稼働して最大約680キロの量になると想定しています。 また、塩の成分はこれから分析する予定であり、販売の際は販路やネーミングなど考えないといけませんが、当面の間は各種イベント等で提供してPRしたいと考えています。 シルバー人材センターの塩との競合は考えられますが、天日塩の製塩量を増やし、価格を下げることで広く普及させたいと考えています。
⑪イノシシ対策(1)	本江から小森の県道にイノシシが出没し、車への被害がでているほか、人への害が危惧される。駆除するにしても狩猟免許の取得にお金がかかるうえ、免許取得後も負担がある。市として被害が起きないように対策をしてほしい。	イノシシ等の駆除については、市では市民の皆さまの中から、人材の育成・発掘をすることが必要と考えており、狩猟免許の取得費用の助成を行っていますのでご協力をお願いします。 また、他自治体の取り組みで有効なものを参考にしたイノシシ対策を試験的に取り入れるなど、努力したいと考えています。

H29春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨に対する進捗状況について

山加積地区

提言等の項目	H29春に開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑫フェンス	電気柵は電気を流さないと意味をなさない。柵が雑草に触れると漏電が起こることもあり、効果は限定的である。電気柵の効果が無いような箇所では金網の背が高いフェンスを設置するなど、市でもう一歩踏み込んだ対策をしてほしい。	東福寺野地内において、下部が金網で、上部が電気柵の耐雪型の2段式フェンスを約1.5キロメートル設置しました。今年度も、東福寺・東福寺野境に約2キロメートル設置予定としていますが、この2段式フェンスは高額であり、市単独予算では厳しいことから、県の補助を活用しており、今後も県にはフェンスの補助を力強く要望していきます。
⑬イノシシ対策(2)	電気柵の外側にイノシシが出るのはもちろん、田がある内側にも出ており、対策をしてほしい。 また、上市町と協力し、話し合いをすることや、市で勉強会の開催をしてはどうか。 駆除だけでなく、おいしく料理する工夫も必要である。	電気柵の内側の対策について、市では侵入防止柵の資材にかかる費用の助成を、各世帯10万円を限度に行っているものでぜひご活用ください。 過去には勉強会を開催していますが、今後実施する際にはお声掛けします。 イノシシ等の食材としての活用については、県に対策を要望する予定としています。
⑭イノシシ対策(3)	イノシシ対策について、東加積地区において対策を行ったと聞いたが効果はあったのか。	東加積地区では、頑丈な柵による対策を行っている箇所に限っていえばイノシシ等が侵入してきておらず、効果は出ていますが、対策をしていない箇所から侵入してくるという弊害もあります。 目的とする害獣により電気柵の高さは異なっており、電気柵だけでなく、柵の内側の対策も含め、多角的な対策が必要と考えています。